



主な内容

まるごと営業本部 最前線

本市に移住した遠藤さん(右)と勤務先の天寿酒造(株)の大井代表取締役社長(左)。(5月17日・会社前)。記事は7ページ

【第61回】
「地元のお酒で出合いが広がります」

由利地域

二見 酒店

〔環口字山下ノ下8番地1 ☎53-2018〕

創業
昭和10年代に幸雄さんの祖父が行商を始め、その後いつしか酒屋を営むようになり、幸雄さんが三代目。今は夫婦二人三脚で店を切り盛りしている。昔ほどお酒の売れる時代ではなくなくなったが、店頭での販売や配達のほか、現在はインターネット通販にも対応。地元のお酒「百竈」は全国各地から



「地元のもので皆さんに喜んでもらえるのはうれしい」と笑顔のお二人



一つ一つ丁寧に包んだお酒がお客様の手に渡ります

「百竈」
純米吟醸酒「百竈」は、地元産の酒米を使って地元酒造店が作る「おらほの酒」。基本的に由利地域の酒屋(白百合会会員)でしか取り扱がないので、「百竈じゃない」というお客さんが横手市や男鹿市などからも足を運んでくれる。「生酒がいい」「火入れがお気に入り」など好みはさまざまなのだが、百竈はみんなにうれしいと言われるお酒。ネット通販では、北海道から沖縄まで、個人はもちろんだが、飲食店などの業者の常連もいる。地元の人々も、自分的には、贈答用に買ってくれる人が多い。

これから
店を続けることで、これまでお世話になっていた皆さんへの恩返しができた。夫婦で協力して、もう少し、今まで通り頑張りたい。



店の正面にどっしりと並ぶ百竈

「こだわり・よろこび」
お酒を送るときは、必ずお礼の一言を書き添え、頼まれればゆり根うどんやゆり根かりんとうなどの地場産品も一緒に送る。手間をかける分大変だと思うこともあるが、「この前のかりんとうがおいしかったからまた送って」と喜ばれたり、「大雪で大変みたいだけど大丈夫?」と声を掛けてもらったり、店を通じていろんな人との出会いや交流が広がるのが楽しい。「まるで親戚みたい」と親しみをもち、とてもうれしい。



自宅の一角の小さなお店に入ると、気さくなご夫婦が迎えてくれます。共に勤めを持ちながら夢中で店を続けてきたという二人。幸雄さんは「注文をとってくださること力仕事」、美代子さんは「梱包や接客などの細やかな仕事」が主な担当ですが、どちらもその親しみやすい人柄がお客さんを惹きつけているんだな、ということが節々から感じられました。皆さんも、評判の地酒と素敵なお二人との出会いを楽しみに訪ねてみては?



カップ麺やお菓子なども販売。近所の子どもや高齢者とのふれあいの場にも。

読者プレゼント 6/21(水)まで 広報クイズ 笑売繁盛プレゼントつき!

二見酒店から「百竈(300ml)1本引換券」を8人にプレゼント!
■応募資格/市内にお住まいの方(応募は1人1通)。クイズの答え(2問)と広報紙に対するご意見や感想など「おたより」を添えてお申し込みください。

- Q1 由利本荘まるごと営業本部に存在しない課は?
1. 仕事づくり課
2. まるごと売り込み課
3. 由利本荘PR課
- Q2 9月に花立グラウンドで音楽フェスを開催するのは?
1. 高橋ジョージさん
2. 高橋英樹さん
3. 高橋 優さん

〒015-8501 尾崎17番地
広報課
読者プレゼント係

住所・氏名・年齢
電話番号
クイズの答え
おたより



由利本荘のお酒が各種そろいます!

※個人情報記載内容の確認、プレゼントの発送のために使用し、この目的以外には使用しません。

市では品質・健康を重視した高級志向の(株)京北スーパー(千葉県)とまるごと売り込み連携協定を、また、全国の生活協同組合に食品を卸売りする(株)協和(東京都)や田園調布などでスーパーマーケット経営するナショナル物産(株)(同)と地方創生包括連携協定を締結。この協定は市の物産のPRや観光情報発信などを含めた連携を目的としており、京北スーパーの店頭やナショナル物産を会場に、平成27年度は5回、昨年度は8回にわたり「由利本荘まるごとフェア」や「味覚フェア」などを開催しています。

農協や商工会とも連携してさまざまな市の産品を持ち込み、直接

本市の魅力は日本百名山の秀峰鳥海山、人々の生活に潤いを与える子吉川、白砂と美しい夕日が映える日本海に代表される豊かな自然と、各地域で育まれてきた技や文化です。

市では農産物や山菜などの自然の恵みとともに、伝統に磨かれた加工品、特産品を通じて市の魅力を首都圏などへ広く発信し、「ブランド化」を進めています。

「まるごと売り込み課」では、市の産品などの販路拡大や流通体制の整備を進め、ブランド化に取り組んでいます。

首都圏へ積極的に売り込む



コメ、地酒、蜂蜜、アスパラに続く売れる商品づくりへ



京北スーパーのバイヤーが製麺工場を視察し、首都圏の消費者の視点からアドバイス(右)

ナショナル物産(株)での「天然山菜フェア」で売り込み(上)

首都圏への産品出荷は魅力的なことですが、本市が大消費地での競争に割って入ることはなかなか容易ではありません。

市では首都圏の消費ニーズにマッチし、「売れる商品」となる品目の発掘や開発・改善を目指し、京北スーパーのバイヤー(商品仕入れ責任者)を招いて、市産品の視察会も開催しています。

市内の生産地視察の後、バイヤーから80品目以上の産品を確認してもらい、パッケージの改良、量目、味付けなどさまざまなアドバイスを受け、売れる商品づくりに取り組んでいます。

バイヤー招き、視察会開催

消費者に販売。積極的な売り込みを通して販路の拡大や「ブランド化」に取り組んでいます。

その結果、「コメ、地酒、蜂蜜、アスパラガス」が京北スーパーの定番商品となり、「山菜、リンゴ」がナショナル物産への定期出荷品目となっているほか、フェアではヨーグルトや味噌、イチジクの加工品なども人気が高く、毎回購入するリピーターも出てきています。

また、山菜は都内でスーパーやレストランを経営する(株)福島屋をはじめ、食品卸、レストランなどにも定期出荷を行うなど、着実に販路が広がっています。



まるごと営業

本部

最前線!!

「由利本荘まるごとフェア」を京北スーパーで定期的に開催。リピーターの定着を狙って。



「移住ミーティング」で希望者のニーズなどを把握



ふるさと回帰支援センター主催「ふるさと回帰フェア2016」で。県や移住関係機関による年3回の移住相談会にも積極的に参加しています。

人口減少の抑制と地域ブランドの創造は、市の総合計画「新創造ビジョン」の要となる戦略方針。これを担当する由利本荘まるごと営業本部は「移住・定住、雇用創出の実践、地域ブランドの形成」などの施策に全力で取り組んでいます。3年目を迎えた同本部の「まるごと売り込み課」「仕事づくり課」の営業戦略や関係者の取り組みに迫ります。



商品開発や販売促進、首都圏などへの販路拡大を目指す

あなたの意欲がブランド戦略の推進力になります!

①〈農業6次産業化支援事業費補助金〉

6次産業化に向けた「商品開発」を支援します

- ◇対象事業 市の農林水産物を新たに商品化、またはすでに商品化したものに改良を加えて販売促進を行うこと。
- ◇対象経費 商品開発に伴う成分調査費、商品のパッケージやラベルなどの作製経費、販売促進のための経費
- ◇補助率 農林漁業者が中心の団体・法人 1/2 上限50万円
農林漁業者、個人または主たる事業所を要する団体・法人 1/3 上限50万円

市では、地域ブランドづくりに挑戦する意欲的な取り組みに対して経費の一部を補助し、サポートに努めています。ぜひご活用ください。

また、首都圏などへ商品を売り込みたい方も募集しています。



山菜を採取し選別。出荷準備にあたる悠々農楽クラブの皆さん（鳥海地域）

②〈まるごと売り込みフェア等特産品販売事業費補助金〉

首都圏での物産展・商談会の参加に補助します

- ◇対象事業 市主催で首都圏などで実施する物産展または商談会への参加、あるいは首都圏などの販売店での定番化した商品の販売促進活動
- ◇対象経費 交通費、宿泊費、出店料、運搬費など
- ◇補助率 個人または団体・法人 1/2 上限15万円

③〈由利本荘まるごと売り込み推進協議会の会員を募集〉

販路拡大に意欲のある方を募集しています

まるごと売り込み課では、売れる特産品づくりを目指す「意欲のある方」を募り、効率的かつ効果的に、売れる戦略を協議し実践していきます。首都圏や大都市圏、県内で売り込みたい商品をお持ちの方、会への加入をご希望の方は6月8日(木)までに、まるごと売り込み課にお問い合わせください。

■問い合わせ先
まるごと売り込み課
☎ 24-6266

6次産業化へ連携し、
「ブランド化」めざそう



「スマートフレッシュ」と呼ばれる青果物の長期鮮度保存技術でリンゴの春先出荷を目指して。

連携で新たな売り込み図る

まるごと売り込み課では、市と企業や団体との連携の強化に加え、市内での売り込み体制の構築に努めています。

由利本荘ブランドの創造に向けて農協や商工会、生産者、販売者などと「由利本荘まるごと売り込み推進協議会」を新たに設立しており、首都圏への販路拡大、市内での流通拡大に向けた「オール由利本荘」の取り組みを目指します。異業種連携による共同企画で新商品や付加価値の高い商品の開発に取り組み、新たなビジネスの展開を狙っています。

協議会では現在、会員を募集中。「自分の商品売り込みたい」という意欲をお持ちの方はまるごと売り込み課にご連絡ください。

山菜で「売れる商品づくり」

鳥海山を中心とした自然の恵みを受けた天然の山菜の引き合いが堅調なことを受け、昨年「由利本荘山菜ビジネス推進協議会」を立ち上げました。協議会では会員の連携を強化し、出荷ロットの確保や安定的な連続出荷を目指しています。

さらに、(株)協和と連携して農林水産物や山菜の加工による高付加

価値化を進め、一年を通じて売れる商品づくりに取り組みます。

市では6次産業化に向けた商品開発や首都圏での物産展・商談会への参加を促進するため、補助金を交付し、支援にも努めています。

集出荷体制の確立を目指す

首都圏での取り引きが拡大傾向にある半面、取引先からは受発注や決済窓口の一本化が求められています。

3月からまるごと売り込み課に流通などの専門知識を持つ人材を配置し、インターネット販売に向けた環境整備や新たなニーズに対応する集出荷体制づくりに取り組み、首都圏との安定した取り引きとその拡大を目指しています。

首都圏でのファンづくり

また、ふるさと会との連携や首都圏に住む若者とのネットワークを構築し、市産品のPRや本市のファンづくりにつなげていきます。

まるごと売り込み課では、意欲のある皆さんと連携し、「日本ジオパーク」に認定された本市の豊かな自然の恵みや強みを生かしながら、「由利本荘ブランド」の創造を目指します。

イチジクの菓子づくりを営む方とリンゴの春先出荷を目指す方に聞く「売れる商品・製品とは」

イチジクの菓子が人気に

吉野隆樹さん

(吉野屋菓子舗・60歳・石脇)



先代がイチジクを使った「甘露煮」「羊羹」を、私が「いちじく・オ・アマンド」や「パウンドケーキ」などを商品化しました。市販の青いイチジクは「甘露煮」にできません。契約栽培で「ホワイトゼノア」という品種の、赤く熟したイチジクだけを毎年10ほど仕込みで使用します。「あきた美彩館」(品川)には開館当初から納めており、「由利本荘フェア」でもすぐに完売すると聞いています。

最近、福島から、うちの甘露煮を原料にして大福を作るという注文がありました。今後は若い人向けの加工品の開発が必要だと思っています。

市のふるさと納税の返礼品で、イチジク加工品セットは人気があります。首都圏でのますますの宣伝に期待しています。

売れる商品で首都圏へ販売攻勢、市の支援を励みに頑張ります!

リンゴの鮮度保存に挑む

斎藤 亨さん

(56歳・西目町西目)



昨年10月、私を含めた2人でリンゴの長期鮮度保存処理を行いました。液化ガスを使ってリンゴの成熟を遅らせ、鮮度を保つ仕組みで、世界的に安全が認められています。実際にもぎたてでは酸味のある「ゆめあかり」がまるやかになり、食感もしつかりして、この春に「秋田由利本荘フェア」に出した時も好評だったと聞きました。昨年は県農業試験場の説明を受け、市農業振興課とともに試験的に約2700個の鮮度保存処理を実施しました。今年もまた取り組み予定で、専用の密封設備の導入を目指しています。

私もナショナル物産麻布店で店頭販売をしました。外国人が多く来店してリンゴがかなり売れ、気持ちに弾みがつきます。首都圏でも売れるリンゴづくりをしていきます。



移住と希望職種への就職を実現
遠藤慎介さん
(28歳・業師堂)

実務経験生かし、秋田で働く希望がなくなった日々、充実している



天寿酒造(株)代表取締役社長
大井建史さん
(57歳・矢島町城内)

外を知る戦力として若い人材を受け入れ、地域の活力を維持したい

移住に合わせ人材採用も実現、仕事づくり課のおかげです!

今年1月、東京から由利本荘市に移り、今、天寿酒造に勤務しています。にかほ市出身で、数年前から秋田に戻りたいと考えていました。東京で酒屋の営業をし、その経験を生かして働きたいと思っていたところ、仕事づくり課から熱心に支援していただき、希望がなくなって3月に入社できました。

以前はさまざまな種類の酒を飲食店や百貨店でのイベントに納めたりと、広く浅い仕事でした。今、地酒のことをより深く勉強している最中です。初めて知ることが多くて楽しく、充実した日々を送っています。

先日、市に移住した皆さん15人ほどが集い、農園でバーベキューをしました。東京では地域との付き合いは皆無でしたが、こちらではそういう温かなふれあいや心の交流を大切にしたいと思っています。

仕事づくり課から「酒類販売の経験を生かし、市に移住して働きたい人がいる」という話をいただき、当社も県外を経験した若い営業職を探していて、リクエストが一致しました。日本酒の営業は技術職です。原料や仕込みをよく知らないとお客さんに説明できず、販売につながりません。今は酒蔵で、酒造りを体で知ってもらっています。地元企業として若い人材を受け入れ、地域の活力を維持する役割を果たしていきたいと思っています。

酒蔵は6次産業化の端的な例でしょう。原料のコメの生産・調達はもちろん、資本も人も地元です。業績では県外出荷率が上がっており、海外輸出も1割近くになっています。日本酒の需要は国内外でここ3、4年は順調です。地元以外での実務を知る人的戦力は重要であり、市の取り組みをありがたく思います。



移住希望の方を対象に「移住まるごとミーティング」を首都圏、仙台、中部圏で開催しています。



丁寧な相談で全力支援



移住された方々の交流会「移住者の集い」

市への「移住」実現のため、就労と住まいを全力サポート

仕事づくり課
Shigoto zukuri

「仕事づくり課」は移住・定住と雇用創出などを担当しています。特に、仕事や住まいなど移住に関する相談をワンストップで受け付け、移住希望者に寄り添いながら移住の実現をサポートしています。

仕事と住まいを市が紹介

市ではまるごと営業本部の設置に合わせ、同課内に「無料職業相談所」を開設。ハローワークや関係機関と連携し、移住希望者が希望する職種を紹介・斡旋しています。

また、同課職員が地元の企業や事業所などを訪問し、求人開拓に努めているほか、移住希望者の有効な資格や職歴を紹介し、地元企業・事業所とのマッチングを進めています。

同課では市空き家バンク登録不動産事業者などと連携し、「住居」も紹介しています。仕事と住まいをセットで支援することで、短期間での移住を実現させています。

移住希望者の掘り起こし

同課では移住希望者の掘り起こしとして「移住まるごとミーティング」を開催したり、県や移住関係機関が首都圏で開催する相談会に積極的に参加したりしています。「移住まるごとミーティング」は、移住希望者に本市の住みやすさや魅力を伝えるとともに、市と移住希望者、そして移住希望者同士が交流できる場として、これまで首都圏や仙台、中部圏で開催しました。ミーティングでは本市での暮らしや仕事に関する情報提供、ワークショップによる意見交換や課題ごとに応じた個別相談を開催しています。

また、「移住体験ツアー」も毎年開催しています。

このツアーは実際に就労体験したり地域の皆さんと交流したりすることで、移住後の暮らしをイメージしてもらえます。

参加した皆さんからは「町内の皆さんに温かく迎え入れてもらい、とても身近に思えた」「就労体験した会社の雰囲気は良く、働きたいと思った」などの感想をいただいております。市を身近に感じてもらうきっかけになっています。

38組74人が本市に移住

こうした取り組みでこれまで38組74人の移住が実現しました。また、本市に移住を希望する方

が登録する「由利本荘移住まるごとネットワーク」には、5月1日現在で47組85人が登録しており、年々増加傾向にあります。

「定住促進奨励金」で助成

仕事づくり課では市内に定住する意思を持ち、①市外から転入し土地・住宅を取得した方、②県外から転入し賃貸住宅に居住した2人以上の世帯に対し、定住奨励金を交付しています。(①1世帯50万円、②1世帯30万円) この制度でこれまで33世帯の方が助成を受けています。

移住後の支援も丁寧

本市に移住をした方の情報交換と交流を目的に、移住者の集いを開催しています。集いでは先輩移住者、地域の方と情報交換やレクリエーションを行い、早く生活環境に慣れるよう支援しています。

◆移住の実績【平成29年5月15日現在】

Uターン		Iターン	
27年度 12組 (20人)	27年度 3組 (9人)	28年度 14組 (31人)	28年度 5組 (5人)
29年度 3組 (7人)	29年度 1組 (2人)	計29組 (58人)	計 9組 (16人)
合計 38組 (74人)		【男】 43人	【女】 31人
27年度 15組 (29人)	【男】 17人	【女】 12人	
28年度 19組 (36人)	【男】 21人	【女】 15人	
29年度 4組 (9人)	【男】 5人	【女】 4人	

※Uターン・Iターンの区分…世帯員の中に県内出身がいた場合は「Uターン」、それ以外は「Iターン」

移住・定住対策を推進

仕事づくりと企業支援で皆さんの希望をかなえます!

① 〈地元企業面接交通費支援事業(移住希望者が対象)〉

採用面接に係る交通費の一部を補助します

- ◇対象内容 移住を希望する方が地元企業と採用面接をする際の交通費の一部を補助。(①市無料職業紹介所から紹介状を受け、②面接に公共交通機関を利用された方)
- ◇対象経費 公共交通機関を利用した交通費、バック旅行料金
- ◇補助額 関東圏と北海道から県内へ 2万円
東北各県から県内へ 1万円など

② 〈移住による起業・創業支援事業(移住希望者が対象)〉

起業・創業の専門的な相談に助成します

- ◇対象内容 移住による企業・創業を目指している方の事業計画書や資金調達などの専門的な相談に対応するため、市商工会指導員などを派遣。
- ◇助成対象 市移住まるごとネットワーク会員
- ◇補助内容 指導員などの派遣・相談費用を市が負担

③ 〈ものづくり企業人材確保事業(企業対象)〉

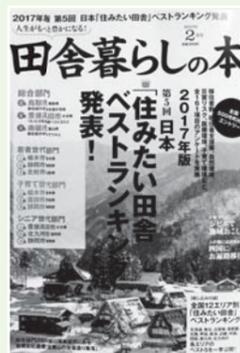
ものづくり企業の人材確保を支援します

- ◇対象内容 新分野にチャレンジする「ものづくり企業」に対し、専門家を派遣し、求める人材の確保を支援。
- ◇対象業種 ①新分野にチャレンジしている製造業
②市無料職業紹介所に求人登録していること
- ◇補助内容 専門家の派遣に係る費用を市が負担

■問い合わせ先
仕事づくり課
☎24-6247

市では、採用面接時の交通費の一部、また移住による起業・創業のための専門的な相談や地元企業の人材確保に係る取り組みに対して経費の一部を補助し、サポートに努めています。ぜひご活用ください。

「住みたい田舎・ベストランキング」東北総合1位 支援策を一層拡充!



順位	自治体	得点
1位	秋田県由利本荘市	70.3
2位	山形県鶴岡市	68.3
3位	宮城県栗原市	68.1
4位	山形県遊佐町	65.5
5位	岩手県一関市	60.9

世代	住みたい田舎	得点
1位	秋田県由利本荘市	18.57
2位	山形県遊佐町	17.9
3位	秋田県由利本荘市	17.0
4位	秋田県北秋田市	16.1
5位	秋田県鷹巣市	15.1



本荘地域で「パンハウス エンゼル」を営み、昨年末に閉店した鎌田芳信さん(74歳・岩谷町)、栄子さん(76歳)ご夫婦は、仕事づくり課を通じて店舗の引き継ぎ(継業)を行いました。「引き継いでくれる人が見つかり、市に感謝します」と話しています。

「高齢になり跡継ぎもいないので、誰か移住して、店をやってくれる人がいれば」。そういう思いを仕事づくり課と商工会が支援してくれました。テレビや新聞でも報道され、県外からも申し込みがあり、おかげさまで新しいパン屋さんに入ってもらえることが決まりました。私たちだけで次の方を探すことは不可能でしたので、市には「継業」に取り組んでいただき、本当に感謝しています。

地域の人口が減っていますので、移住してくれる人が増えてほしいと思います。そういう方や第三者への引き継ぎを地域全体で応援していくシステムがあればいいですね。新しく店を営まれる方に頑張ってほしい、店が繁盛することを願っています。私たちもできるだけの応援をしていきたいと思ひますし、地域の皆さんにも新しい店を応援してほしいと思っています。



市が作成した継業支援のチラシも話題に。



40年以上にわたって地域に親しまれたパンの店を新しい人に引き継いでいきたいですね。「地域で盛り立てていきたいですね」と話しました。

移住・まるごと、ミーティングを開催します!

市や本県への移住(Uターン)をお考え方、関心のある方などに移住・まるごと、ミーティングの開催をお知らせください。

- (1)日時 6月24日(土) 13:30~17:00
- (2)会場 FORUM 8(渋谷区道玄坂 新大宗ビル1号館)
- (3)定員 30人(参加は無料)
- (4)申込期限・方法 6月22日(木)までに、次のいずれかで
①市移住・定住応援サイト <http://yurihonjo-teiju.jp/teiju/>
②☎(0184)24-6247(仕事づくり課)
③電子メール shigoto@city.yurihonjo.lg.jp

若年層の地元就職を促進

定住策の一環として市内の高校生の地元就職を促進するため、「高校生就職サポートセミナー」を開催しています。地元企業情報の提供、高校生の就職サポートに力を入れています。

継業支援、地域活性化へ

地域の商店が休業・廃業すると不便で寂しくなり、地域の活力が損なわれます。本荘地域の老舗パン屋の店主は後継者が不在のため、やむを得ず廃業を決めました。そこで仕事づくり課では意欲ある方への店舗経営の引き継ぎ(継業)を進めるため「移住+継業」のマッチングに取り組みました。(詳しくはインタビュー記事を参照)

そして新しく店を引き継ぐ方が決まり、動き出しています。移住者の視点をプラスすることで、地域で親しまれてきた商店が再び活躍し、地域に親しまれることが期待されます。

支援策拡充し、就労を促進

市では従来の定住奨励金に加え、新年度から「企業面接費用の交通費補助」「移住による起業・創業支援事業」「ものづくり事業人材確保事業」をスタートしました。

住みたい田舎・東北1位に

宝島社が発行する月刊誌『田舎暮らしの本』2月号の「第5回住みたい田舎・ベストランキング」で、本市が総合部門で東北1位、全国19位と、前年から躍進しました。東北エリアでは、総合とともに「子育て世代」「シニア世代(50歳以上)」で1位、「若者世代(10~20代、30代の単身者)」でも3位という上位の成績です。

「住みたい田舎ランキング」は、全国500市町村がエントリーし、田舎暮らしの重要なポイントとなる161項目のアンケートに答え、各部門ごとに点数化してランク付けしたものです。本市は「ワンストップ窓口と仕事と住まいのきめ細かな相談で、移住の早期化を実現。交流イベントや移住・定住のための情報発信に力を入れている」と紙面で紹介されました。

各種医療・介護体制、子育て支援の充実とまちづくり施策なども高く評価されたうえで、上位ラングであり、市では移住地としての魅力をさらに高め、広く発信しながら、一人でも多くの移住の実現につなげていきます。

◆「市長の行動」報告（4月分）

※市ホームページ「市長室からこんにちは」もご覧ください

4月3日(月)	由利本荘市人事異動辞令交付式 本荘由利広域市町村圏組合理事異動辞令交付式 市交通指導隊・市防犯指導隊 隊長・副隊長委嘱状交付式 (公財)本荘由利産学振興財団辞令交付式 職員辞辞
6日(木)	五役・部長・支所長会議 東由利中学校 入学式 大内中学校 入学式
7日(金)	岩谷小学校 入学式 本荘北中学校 入学式
8日(土)	子吉小学校 入学式
10日(月)	五役会議 市老人クラブ連合会総会
13日(木)	人権擁護委員委嘱状交付式
14日(金)	本荘さくらまつり山開き (株)マシマックス第4工場竣工祝賀会
17日(月)	五役会議 由利本荘総合防災公園屋根付きグラウンド建設工事 起工式・安全祈願祭
18日(火)	国土交通省東北地方整備局 訪問(仙台市)
19日(水)	県種苗交換会 市協賛会設立総会
20日(木)	市婦人団体連絡協議会総会 現場視察(鳥海地域下笹子地区 土砂崩落箇所) 県市長会定例会・視察・懇談会(横手市)
21日(金)	ねりんピック秋田2017 市実行委員会総会
24日(月)	五役会議 岩城地域行政協力員会議・懇親会
25日(火)	市スポーツ・ヘルスコミッション総会
26日(水)	現場視察(由利本荘総合防災公園由利本荘アリーナ) 秋田国道協議会総会(秋田市)
27日(木)	秋田由利牛振興協議会総会 市土地改良区西目発電所更新工事竣工安全運転祈願式・祝賀会

◆市長交際費の報告

◎：代理出席

(1) 弔 事 (円)

件数	支出額
1 件	20,000

(2) 会費等 (円)

支出日	支出内容	支出額
4月13日	桜・菜の花まつり観覧会会費(◎小野副市長)	4,000
14日	(株)マシマックス第4工場竣工祝賀会へ御祝い 本荘さくらまつり山開き懇親会会費(◎小野副市長)	3,480 3,000
20日	県土地改良事業団体連合会由利支部全体会 懇親会会費(◎農林水産部政策監)	2,000
21日	市職員労働組合定期大会交流会へ寸志(◎阿部副市長) 相模原市長表敬時特産品お土産	3,482 3,726
24日	岩城地域行政協力員会議懇親会会費 市交通指導員連絡会総会懇親会会費(◎市民生活部長)	2,000 2,000
27日	市土地改良区西目発電所更新工事竣工祝賀会へ御祝い	5,022
28日	西目地域町内会長・団体の歓迎迎会・観覧 会会費(◎阿部副市長)	5,000
29日	メーデー本荘地区集会協賛金 上田真田まつり参加時特産品お土産	50,000 2,581
合計		86,291

副市長交際費執行状況 (円)

支出日	支出内容	支出額
4月14日	本荘さくらまつり山開き懇親会会費(阿部副市長出席)	3,000
合計		3,000



300万人目となった吉田さん親子(右)

カダーレ入館者数
300万人を達成!!

市文化交流館「カダーレ」の入館者数が300万人を達成し、5月16日に記念セレモニーが行われました。300万人目となったのは吉田慶子さん(32歳・給人町)で、娘の琴音ちゃん(2歳)、佐々田教育長、村岡カダーレ文化芸術振興会理事長と一緒にくす玉を割って節目を祝いました。4月に広島から引越してきたばかりという吉田さんは「カダーレの図書館は立派で子どもの絵本もたくさんあるので、これからも利用したいです」と笑顔で話しました。



満開の黄桜の下、力走するランナー

「第30回黄桜まつり健康マラソン」
満開の黄桜の下で力走

「第30回黄桜まつり健康マラソン」が5月14日、八塩いこいの森を会場に開催されました。今年は年齢や男女別に分かれた13部門に計233人が出場。爽やかな陽気の中、ランナーが力強い走りを見せました。小学生男女3年生以下2歳の部で1位になった須田緑さん(8歳・館)は「今日は調子がすごく良かった。スポーツでバスケットをしていていつも走っているのだから、マラソンの練習にもなっている。来年もまた大会に出たい」と笑顔を見せました。



市民俗芸能伝承館「まいれ」の開館記念特別公演が5月3日に開催され、地元や県内外の3団体が伝統の舞を披露しました。こけら落とし公演となった舞台には本海獅子舞番楽下直根講中(鳥海地域)、



躍動の舞台上に満場の拍手

根子番楽(北秋田市)、早池峰岳神楽(写真・岩手県花巻市)が出演。各団体は数世紀にわたって受け継がれ

てきた舞や囃子を古式ゆかしく演じ、約200人の観衆を魅了しました。藤原甚一さん(79歳・羽後町)は「民舞のメンバー9人で鑑賞に来ました。晴れのひのき舞台で演じられる舞はどれも素晴らしく、見応えがあり、感動しました」と話しました。「まいれ」では6月3日に企画公演で「猿倉人形芝居」(木内勇吉一座)が、18日には3団体による定期公演が開かれます。

「まいれ」開館祝い、3団体公演
伝統の舞、観衆を魅了

あきた音楽大使を務める横手市出身のシンガー・ソングライター高橋優さんが5月1日に市役所で記者会見を行い、9月2〜3日に



記者会見で抱負を語る高橋さん(左)

「鳥海高原花立牧場公園花立グラウンド」で野外音楽フェス「秋田CARRAVAN MUSIC FES 2017」を開くことを発表しました。高橋さんは「全国から訪れる皆さんに秋田の良さを感じてもらえるような空間をつくり、老若男女問わず気軽に訪れてもらい、楽しかったねと言ってもらえ、楽しいようなフェスにしたい」と抱負を語りました。また、同席した長谷部市長は「本市

でこのようなイベントを開催していただけるのは大変ありがたくうれしく思います。市民の皆さんに元氣と感動を与えてほしい」と話しました。このフェスは毎年開催地を変えて、県内13市で開催することを目標に昨年横手市で初めて行われ、本市が2番目の開催地となります。今年も高橋さんを含む7組のアーティストが出演予定で、2日間で約1万6千人の来客を見込んでいます。

Yurihonjo City Topics

子吉川の幸「モクスガニ」を堪能
第13回「子吉川ガニまつり」

子吉川の幸と触れ合うことでふるさとの自然を大切にすることを育んでもらおうと「子吉川ガニまつり」(子吉川水系漁業協同組合本荘地区主催)が5月14日、ポートプラザアクアパルを会場に開催されました。当日は約4千匹のカニが用意され、市内外から訪れた多くの親子連れが、モクスガニのつかみ取りや放流を楽しんだり、ガニ汁を味わったりしてまつりを満喫しました。人工池で行われたつかみ取りでは、子どもたちが水しぶきを上げながら夢中でカニを追い掛けました。20匹ほど捕まえたという前川



大慈君(11歳・秋田市)は「手を挟まれて痛かったけど、端に追い込んでたくさん取れたので楽しかった」と声を弾ませました。このほか、ゆでガニや生きたカニの販売なども行われ、来場客が列をつくって買い求めていました。



大盛況だったモクスガニのつかみ取り

1

市職員を募集します

平成30年度採用予定の市職員を次のとおり募集します。
(試験区分の併願はできません)
採用人数
行政職：上級・中級・初級および職務経験者のうちから10人程度
技術職【土木】：上級・中級・初級および職務経験者のうちから若干名
保健師：1人程度

第1次試験日・会場…7月23日(日) 西目公民館「シーガル」
受付期間…6月1日(木)～28日(水)

Table with 2 columns: 試験区分, 受験資格. Rows include 行政職(上級), 技術職【土木】(上級), 保健師.

2

マイナンバーカードを利用してコンビニで証明書が取得できます

市では、マイナンバーカード(個人番号カード)所有者を対象に、住民票など市が発行する証明書を全国のコンビニエンスストアで交付するサービスを開始しています。
◇交付可能なコンビニなど
全国のセブン・イレブン、ローソン、ファミリーマート、サークルKサンクス、セイコーマート、イオンリテール、セーブオン
◇サービス提供時間
・住民票の写し・印鑑登録証明書 6時半～23時(土日祝日含む)
・戸籍・戸籍の附票 9時～17時15分(平日のみ)
※ただし、いずれも12月29日～1月3日は休止します。
◇発行可能な証明書
住民票の写し(マイナンバーや住民票コードは入りません)、印鑑登録証明書、戸籍証明書(謄本・抄本)、戸籍の附票
◇その他
・交付申請には、マイナンバーカードが必要となります。
・発行には、店頭にあるマル



チコピー機を利用します。店舗により操作方法が異なりますので、詳しくは店頭で確認していただくか、お問い合わせください。

問い合わせ先
市民課住民記録班
☎24-6243

3

新商品の販路拡大に
取り組む事業者を支援します

◇市新商品等展示会
出展支援事業補助金
新たに開発した商品などの販路拡大を目指し、展示会や見本市などへ出展するための経費の一部を助成します。
補助対象者 市内に事業所または工場を置き、自ら開発した製品(技術的なものを含む)の販路拡大を目指している事業者
補助対象経費 平成29年4月1日から平成30年3月31日までに開催される展示会などの出展料および小間代に要する費用
補助額
①中小企業：補助対象経費の2分の1(上限15万円)

②小規模事業者：同経費の3分の2(上限20万円)
③それ以外：同経費の3分の1(上限10万円)
申込期限 6月30日(金)
※申し込み多数の場合は、選考となります。
※詳しい内容はお問い合わせください。
申し込み・問い合わせ先
商工振興課
☎24-6373

4

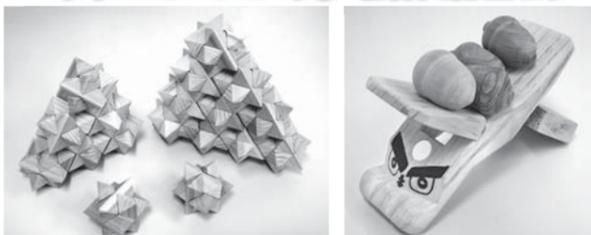
議会報告会「市民と語る会」を
8地域10会場で開催します

◇皆さんのご意見を
お聞かせください
市民の皆さんにわかりやすく開かれた議会を実現するため、議会報告会「市民と語る会」を開催します。
この報告会は議員が地域に直接出向き、常任・特別委員会の審議など議会活動の状況を地域住民に報告・説明し、市政に関する情報を提供するとともに、地域ごとのテーマ

に沿った意見交換を行うことにより市政や市議会に対するご意見などを聴く貴重な機会として開催するものです。
多くの皆さんのご参加をお願いいたします。
内容 議会報告(3月定例会を中心とした報告)、意見交換(テーマに沿った討論)
議員の班編制 【1班】村上亨、佐々木慶治、高橋信雄、梶原良平【2班】伊藤岩夫、佐藤勇、伊藤順男、佐藤謙司、

問い合わせ先
議会事務局
☎24-6386

誕生祝い品「木のおもちゃ」製作講習会
誕生祝い品として贈呈する「木のおもちゃ」の製作講習会を開催します。
日時 6月15日(木) 14時～17時
場所 由利コミュニティセンター「善隣館」2階 視聴覚室
講師 東京おもちゃ美術館 星野 太郎 副館長
ナカムラ工房 中村 隆志さん
受講料 無料
※試作品がある方は、お持ちください。
申し込み・問い合わせ先 木のおもちゃ美術館整備推進事務局 ☎24-6312



5

市ウッドスタート(誕生祝い品)
「木のおもちゃ」を募集します

市では、今年2月のウッドスタート宣言の取り組みのひとつである「誕生祝い品」として贈呈する「木のおもちゃ」を募集します。
応募資格
・市の木育事業にご賛同いただける方
・市に住民登録のある方
・木のおもちゃの条件
①市内の木材を使用して製作したもの
②3歳未満を対象としたベビ

③赤ちゃんと配布する上で安全性を考慮したもの
④安全性の指針があります。
⑤手ごろな大きさで家庭に持ち帰って使用できるもの
⑥由利本荘らしさ(伝統・文化・風土)を感じられるもの
⑦おもちゃを入れる箱なども同時に考えること
例：専用木箱・専用布袋(贈呈品はウッドスタートロゴが印字されることとなります)
応募・問い合わせ先
木のおもちゃ美術館
整備推進事務局
☎24-6312

議会報告会の開催スケジュール

Table with 3 columns: 地域/班, 開催日時/開催場所, テーマ. Rows include 本荘(2班), 東由利(2班), 本荘(5班), 西目(5班), 大内(3班), 鳥海(3班), 矢島(1班), 本荘(1班), 由利(4班), 岩城(4班).

6

「児童手当現況届」を提出してください

今年5月分までの児童手当を受けている方が引き続き手当を受給するためには、現況届の提出が必要です。現況届の提出がない場合、6月分以降の手当を受けられなくなりま

受付期間 6月1日(木)～30日(金)(土日を除く)
提出先 子育て支援課または各総合支所市民福祉課(8時半～17時15分)

問い合わせ先
子育て支援課
児童支援班
☎24-6319

7

「由利本荘アリーナ」の優先的施設使用申請を受け付けます

平成30年10月にオープン予定の「由利本荘アリーナ」の優先的施設使用申請を6月1日から受け付けます。

今回、申請を受け付けるのは、平成30年10月から平成32年3月の間に開催を予定している国際、全国、東北、全県規模のスポーツ大会および営利を目的とする使用(興行など)で、メインアリーナ、サブアリーナ、剣道場、柔道場

ブアリーナ、剣道場、柔道場、その他必要な施設を全て貸し切って使用する場合となります。
詳しい内容はお問い合わせください。
問い合わせ先
総合防災公園管理
運営準備事務局
☎24-6276

8

6月は秋田県男女共同参画推進月間です

「男で〇、女で〇、共同作業で◎。」
(※平成29年度男女共同参画週間キャッチフレーズ)

6月は県の「男女共同参画推進月間」、23日から29日は国が提唱する「男女共同参画週間」です。全ての人が多様な生き方を選択できる社会、ひいては豊かで活力ある社会を実現するためには、性別・年齢・国籍などに関わりなく、あらゆる分野において、それぞれの個性と能力を十分に発揮できる「男女共同参画社会」の実現が求められます。
■市の男女共同参画計画について
市では男女共同参画計画を策定し、総合的な取り組みを



- 1. 市の基本目標
人権の尊重と共生社会に対する意識づくり
2. 男女共同参画による活力にあふれたまちづくり
3. 誰もがいきいきと働ける環境づくり
4. 家族が手をとりあつてもに暮らせる家庭づくり
5. 生涯にわたり市民がはつらつと過ごす健康づくり

進めてきました。
昨年度から、新たな取り組み内容や数値目標も盛り込んだ5カ年の「第3次男女共同参画計画」がスタートしています。
■女性の活躍推進法について
平成27年8月に「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)」が成立し、301人以上の労働者を雇用する事業主は行動計画を策定することが義務付けられました。
市でも「特定事業主行動計画」を策定し、管理的地位にある職員に占める女性の割合15%以上、男性職員の育児休暇取得率10%以上などの数値目標を定めています。
■市男女共同参画推進活動室について
市では男女共同参画推進のために無料で利用できる会議室を、市民交流学習センター(上大野16番地)内に設置しています。センター開館時には常時開放していますが、会議などで長時間利用するには利用団体登録が必要になりますので、詳しくはお問い合わせください。
問い合わせ先
総合政策課
☎24-6226

9

佐々田氏を教育長に、佐藤氏を教育委員に任命

5月15日に召集された第2回市議会定例会で、改正地方教育行政法に基づく人事案件が上程され、教育長に佐々田亨三氏(現教育長)を任命するとともに、教育委員の任期満了に伴い、新たに佐藤道昭氏を任命することが同意されました。



●教育委員会教育長
佐々田 亨 三 氏
(73歳・岩城亀田大町・再任)
秋田大学卒業。県教育庁義務教育課長、同教育次長などを経て、平成17年6月から市教育長。



●教育委員会委員
佐藤 道 昭 氏
(57歳・花畑町・新任)
駒澤大学卒業。平成22年4月から平成23年3月まで尾崎小学校PTA会長。平成21年4月から平成29年5月まで市社会教育委員。東林寺住職。

10

木造住宅耐震診断・耐震改修補助をご活用ください

◇市木造住宅耐震診断・耐震改修補助事業
市では、昭和56年5月31日以前に建築された木造住宅の耐震診断・耐震改修費用に対する補助金を交付します。
①市内に存すること

- ②昭和56年5月31日以前に建築された木造住宅
③この事業に基づく補助金の交付を受けて耐震診断を過去に実施していないこと
補助金の額
・耐震診断：耐震診断に要する費用の3分の2(上限3万円)

申し込み・問い合わせ先
建築住宅課住宅班
☎24-6334

鳥海山・飛島ジオパークリレーコラム「日本海と大地がつくる水と命の循環」【第30回】「若者たちの一味違ったジオサイト巡り」

東北公益文科大学 特任講師
中原 浩子 氏

昨年の日本ジオパーク認定を受け、半年前から秋田県立仁賀保高校の生徒と東北公益文科大学の学生が協力して新たな取り組みに挑戦しています。「鳥海山・飛島ジオパーク体験プログラムin NIKAHO」(7/23実施)と題し、ジオパークの「ふれる・楽しむ・好きになる」のキャッチコピーに加え、「発信できる人になる」ということにも重点をおいた企画です。

地域や年齢を問わず、多くの方にお越しいただき、ジオパークの魅力をご紹介するこの企画は、仁賀保高校の「Benkyo & Volunteer(勉強&ボランティア)同好会」の生徒と東北公益文科大学「酒田おもてなし隊」の学生が当日先生となって参加者をご案内します。そのため、まずは自分たちの知識力向上を目指し、雪深い時期から現地の下見や打ち合わせを重ね、6月には合同勉強合宿を実施するなどして準備を進めています。

地域のボランティア活動で習得した実行力を持つ高校生と、観光による地域活性化活動で培った度胸を持つ大学生が協力することで、若者目線による一味違ったジオサイト巡りが実現できると思っています。詳細は、鳥海山・飛島ジオパーク推進協議会のフェイスブックなどでお知らせしていますので、ぜひ皆さんご参加ください。問い合わせ先



秋田県立仁賀保高校と東北公益文科大学の学生たち

にかほ市役所企画課企画班
☎ 43-7510